

意見交換会実施報告書

開催日時	平成23年11月10日 午後7時00分～午後9時00分
開催場所	美麻公民館中会議室
出席議員	大和幸久（責任者、司会） 中牧盛登（報告者） 松島吉子（記録者） 高橋 正 堀 堅一 神社正幸
参加市民数	15人
議会報告内容	・平成22年度決算について
意見交換内容 (要望提言等)	<p>質問1 大町市の財政状況も非常に厳しい。議員の定数について検討しているか。市内の景気悪化もあり議員に対する厳しい意見がある。県内他市議会の定数なども考慮し、早期に定数についての議論をしてほしい。</p> <p>回答1 合併以前から条例を改正し、今回の4月の選挙から従前の20人から18人としたところである。議員定数についての議論は、今回の市民の皆さんの意見等を参考に、今後検討していくことになると思われる。</p> <p>また、議員の活動が理解されにくいことから、開かれた議会をめざして議会改革を進めてきた。議会基本条例を制定し、今回のような意見交換会の開催や政策提言をしながら、目に見える活動をしていきたい。</p> <p>(このほか、各議員の定数に対する考えを述べる)</p> <p>意見・要望1 今後、議員定数をテーマとした意見交換会も検討してほしい。</p> <p>意見・要望2 議員活動は、本会議や委員会だけでなく、地元など地域を回り、地域課題の把握することも活動と考える。議員は地元や地域を回る活動をしてほしい。</p> <p>質問2 今年1年、美麻地区へ議員はどう関わってきたか。地区からの陳情などを踏まえ、早く事業化できるよう配慮してほしい。</p> <p>回答2 議員は特定な地区だけのために活動はしていない。事業等の実施にあたっては、市全体の中で、優先度や地域間のバランスなども考慮し、議会として判断しているのでご理解を願いたい。</p>

質問3

合併当時、美麻地区と大町地区との隔たりを感じていた。美麻・八坂地区は年々、支所費用も激減し、合併によるメリットが感じられない。合併に対してどう考えているか。

回答3

合併によりリスクもあったと感じている。合併後は各地区で同様な思いもある。美麻地区の特殊性などを考慮していくことが重要である。

地区の住民と一体になって事業等に取り組む姿勢が参考となる。美麻・八坂地区の職員は優秀であり、人材という財産が増えたと感じる。

人と人のつながりが増えたことが有難い。合併により交付金等も増えたので、美麻・八坂地区にどう活かしていくかを議会としても提言していく必要がある。

里山文化をはじめ、多くの貴重な財産が増えた。美麻地区と他地区との交流を活発にするような取組みが重要である。

合併の課題は多く、人口減少社会であるが、保育園、学校、山村留学の存続のため、地区住民の意向を重視した対策が必要である。

質問4

議員が自治会長や補助金を受けている団体、防犯協会長などに就けないこととしたが、議員は、地域のリーダーとして、積極的に先にたっていくべきと思うが、いかがか。美麻地区のような小さなところでは、全て受けられないのはどうかと思う。

回答4

議会の申し合わせで、議員の兼職・兼業禁止を規定した。例えば自治会長の場合、市から毎年、自治会へ補助金があり、また、陳情も行なっている。それらを審査するのは議員であることから、このような関係はおかしい、疑惑を持たれることは慎もうということで、議会でも十分協議し、議員全員で決めたことであり、ご理解を願いたい。

質問5

議員定数は、単に減らせば良いものではない。逆に、地域の声をくまなく拾えるよう報酬は少なく、数は増やしても良いという考え方もある。そして、議会からも、もっと積極的に提案していくことが重要である。

回答5

市の事業等に対して、一般質問等を通じて、個別具体的な提言は行なってきた。今後は、政策提案する議会となるよう取組んでいく。

	<p>質問 6 市職員や病院職員の欠点をつくだけでなく、良くやっているところも紹介することも必要ではないか。現場をしっかりと見てあげてほしい。</p> <p>回答 6 職員は、意識改革などに取組み、以前は不満であった部分も改善され、窓口の対応など良くなったことは評価している。 病院については、厳しい経営状況などの改善を望んでいるので、議会として言うべきことは伝えていきたい。</p> <p>意見・要望 3 合併後、美麻の特色、山間部などを生かした施策が必要である。国際交流、山村留学など旧大町市では考えにくいことかもしれない。美麻地区の特色を無くさないための活動、提案もしてきた。特に地区に学校が無くならないこと、教育は大事。移住対策、荒廃農地対策、市民農園の維持など美麻地区だけでなく、全市の問題として捉え、是非、美麻に足を運んで、話を聞いて、関わってほしい。 民意を大切にすることは重要であり、審議会などに公募委員も増やし、苦勞を重ねて議論しているが、議員にも評価をしてほしい。 美麻地区のような田舎であっても優秀な子どもたちが多い。受け皿となる企業がなければ人材も集まらない。環境の良い山村において、水洗化とインターネットが整備されていれば若い人がきやすいので、このようなことを踏まえて地域振興を考えてほしい。</p> <p>回答 美麻地区の実態をもっと知ってほしいというお気持ちが充分わかった。今後の議員活動に生かしていきたい。</p> <p>意見・要望 4 有意義な意見交換会であり、継続して開催を望む。例えば、年 4 回、毎定例会ごと開催するなどを検討してみてもどうか。</p> <p>回答 今のところ、年 1 回以上開催することで始ったところである。地区からの要望があれば対応できる。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成 23 年 11 月 30 日

政策調整委員会委員長 様

上記意見交換会責任者 大 和 幸 久 ⑧